

エングレービング技法のアニメーション  
〜石膏からピクセルまで〜

Introduction to

Contemporary  
Animation



# コンテンポラリー アニメーション入門

～現代短編アニメーションの見取り図～ 2023

第38回講座 2023.9.17(日)

開場：午後4時 上映と講演：午後4時30分～午後6時

会場：東京藝術大学大学院映像研究科 馬車道校舎 大視聴覚室

主催：東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市にぎわいスポーツ文化局





# コンテンポラリー アニメーション入門

～現代短編アニメーションの見取り図～  
2023

我々の同時代にどのようなアニメーション作家が、どのような意識で作品を制作しているのでしょうか。短編アニメーションは常にアニメーション映像の可能性の最先端を走っています。しかし、実際に製作者や観客の興味の増幅ほど、短編アニメーションを見て知る機会は増えてはいません。まずその基礎知識を共有して、コンテンポラリーアニメーションの見取り図を描くことがこの公開講座の目標です。東京藝術大学大学院映像研究科では、世界的に「いま」を象徴する作家の作品の鑑賞を中心に、講義を公開で行います。

第38回  
講座

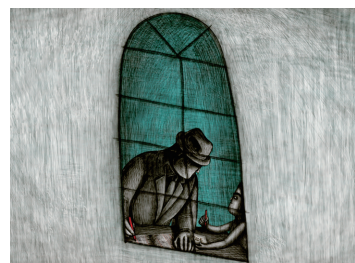
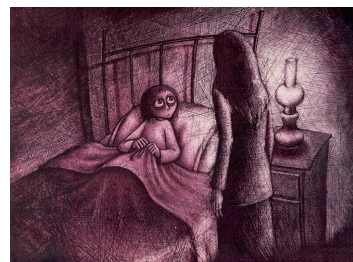
現代ポルトガルを代表するレジーナ・ペソア監督は、主に版画で用いられるエングレービング技法で描き、短編アニメーションを制作しています。第38回講座では、寡作ながら作家としての強い存在感を示す彼女の、4つの作品の制作プロセスを紹介します。

演 題：エングレービング技法のアニメーション  
～石膏からピクセルまで～

講 師：レジーナ・ペソア、山村浩二

日 時：9月17日(日) 開場：午後4時  
上映と講演：午後4時30分～午後6時

作品上映：『夜』『ハッピーエンドの不幸なお話』  
『カリ、小さなヴァンパイア』  
『トーマス叔父さん、日々の会計』



講師：レジーナ・ペソア

REGINA PESSOA



企画・講師：山村浩二

東京藝術大学大学院映像研究科  
アニメーション専攻教授

KOJI YAMAMURA



1969年、ポルトガルのコインブラ出身。ポルト大学芸術学部で絵画を学ぶ。数々のエングレービング手法を使ったアニメーション作品を制作・監督。これらの作品は世界中で評価されており、アムシー国際アニメーション映画祭、サウス・バイ・サウスウエスト、アニメ賞など、主だった国際映画祭で軒並み受賞している。2016年、ドイツ・フィルムアカデミーバーデン＝ヴュルテンベルクの高級講師着任。2018年、映画芸術科学アカデミー（米）会員。ペソアは、映像作品だけでなく、イラストや絵画でも独創的なビジョンを展開している。現在は、次作映画『MOTHER FACES』をCiclope Filmes Studioにて準備中。同スタジオはパートナーのアビ・フェイジョ氏と共同経営しており、二人で運営している Casa Museu de Vilar（映像博物館）の敷地内に所在している。

『頭山』（2002年）が第75回アカデミー賞にノミネート、アマシー、ザグレブ他6つのグランプリを受賞、「今世紀100年の100作品」の1本に選出される。『カフカ 田舎医者』（2007年）がオタワ他7つのグランプリを受賞、アニメーション作品の受賞は130を超える。世界4大アニメーション映画祭すべてでグランプリを受賞した唯一の監督。2021年、過去25年間の優れた世界の短編監督25人のトップ2に選出。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞、紫綬褒章受章。米国アカデミー賞（映画芸術科学アカデミー）会員。

会場：東京藝術大学大学院映像研究科 馬車道校舎 大視聴覚室

参加無料、先着90名、ただし新型コロナウイルスの状況によって収容人数を変更する場合がございます。

当日整理券を、午後3時30分より配布致します。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://animation.geidai.ac.jp/ca/>



お問い合わせ先：東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻

E-mail: [anim\\_contact@ml.geidai.ac.jp](mailto:anim_contact@ml.geidai.ac.jp)

専攻 web サイト: <https://animation.geidai.ac.jp>

主催：東京藝術大学大学院映像研究科、  
横浜市にぎわいスポーツ文化局

本公開講座は、東京藝術大学大学院映像研究科と横浜市にぎわいスポーツ文化局が連携して行う地域貢献事業です。

アクセス：みなとみらい線「馬車道駅」5・7番出口を出てすぐ

